

# Contents

位置・地勢	3
9つのエレメント（要素・素材）	
1 自然	5
2 歴史	6
3 3つの拠点	7
4 地域振興（9つの彩り）	9
5 産業	
祭り	10
農林業	11
水産業	13
商工業	14
6 保健・福祉	15
7 生活	17
8 教育	19
9 議会・行政	23
第5次垂水市総合計画	25
垂水市のあゆみ	27
施設一覧	29
マップ	30

# 九つの彩り豊かに 健やかな人を育むまち 垂水

## 垂水市の沿革

明治22年の市町村制に基づき、垂水村・牛根村・新城村が発足しました。  
大正13年の町制施行により垂水村が垂水町となり、昭和30年の昭和の大合併により、垂水町が新城村と牛根村を編入しました。その後、昭和33年の市制施行により現在の垂水市となり、平成30年に市制施行60周年を迎えました。

垂水市の名称は、垂水城（元垂水）の崖下に、岩の間から清水が滴々と垂れる溜水があり、この辺り一帯の唯一の飲料水であったことから有名となり、この地名が起ったと言われています。

## 垂水市の位置・地勢

垂水市は、大隅半島の北西部、鹿児島湾に面するほぼ中央に位置し、県都鹿児島市と大隅半島を結ぶ海上陸上交通の要所です。北に霧島市、西に桜島、東は高隈連山を境として鹿屋市に接しています。

面積は、約162.12km<sup>2</sup>で南北に37kmに及ぶ海岸線を有しています。地目別面積では、市の面積の77%を森林が占め、宅地割合はわずか3%となっています。

気候は、平均気温が21度、年間200日以上が晴れの天気になる年が多く、温暖で暮らしやすい気候となっています。



市の木  
牛根松



市の花  
高峠つつじ

ごあいさつ



垂水市長

尾脇雅弥

垂水市は鹿児島県大隅半島の玄関口に位置し、恵み豊かな錦江湾と優美な桜島を目の前に望む緑豊かなまちです。

錦江湾沿いの美しい海岸線、自然が多く残る高隈の山々、神秘的な景観の広がる猿ヶ城溪谷、春にツツジが一面に咲く高峠つつじヶ丘公園など豊かな自然が数多くあり、その豊かな自然に恵まれた大地と海を生かした特産物、豊富な水を利用した焼酎や飲む温泉水などの特産品が数多くございます。

また、「道の駅たるみず湯つ足り館」、中央の猿ヶ城溪谷に「森の駅たるみず」、そして、南に「道の駅たるみずはまびらたるたるばあく」の3ヶ所の交流拠点がございます。

これらの豊かな自然や地域資源などの「地域の宝物」を未来の垂水へつないでいくため、「地域資源を活かした賑わいのあるまち」、「次世代の担い手を育成・支援するまち」、「安心していきいきと暮らせるまち」、「豊かな自然の恵みを次世代に受け継ぐまち」を目標に掲げ、市民、地域、事業者、行政などが協働でまちづくりに取り組んでいます。

さて、本市は、平成30年に市制施行60周年を迎えました。これを記念し、垂水の彩りを広く知っていただくため、この市勢要覧を発行いたします。

先人が育んできた垂水の「地域の宝物」をさらに磨き、活かしながら、これから市民の皆様のご幸せと本市の将来像「九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち垂水」の実現を目指してまいります。